

2,009年4月号
かわらばん
2,009年4月5日発行
森を守り育てる会

もいのにぎわい通信 もいもいあそび隊

3月28日 定例活動報告

2008年度 第10回定例作業とシタケの菌打ち

日時: 2009年3月28日(土)9:30-15:00(一般10:00-14:30)

場所: 小山町 観音地

天候: 曇り 気温(最高22°C 湿度28%) 北よりの風~1m

参加者: 78名 家族参加18(子供34人、大人22人)、あすみが丘他20

特別参加: 千葉市環境保全部長 和田様、千葉県山武森林研究所 石谷様

活動記録

9:30 準備 甘酒等

10:10 開会(星野)説明(奥山)

10:10 挨拶(小高理事長、和田部長様)

10:20 ○椎茸の菌打ち班 大人:子供の補助(ドリルでの穴あけ
ボタ木整理)

子供たち中心: 椎茸の話 椎茸の菌打ち

○苗木準備班:大人中心 植樹位置決め他(栗16本、あんず他、シラカシ1年生など)

11:20 休憩 甘酒 パンを焼いて食べる 懇談 第6回里山シンポジウム分科会

12:10 昼食 お弁当

13:10 写真撮影 栗などの植樹

14:30 作業終了片付け

15:00 解散



活動報告

前日夜に降った雨も上がって気温も低い曇りでしたが風が弱く絶好の作業日和となりました。

今回は行事全体を、第6回里山シンポジウム ワークショップと分科会として「小山町観音地 里山の森の復元 椎茸の菌打ちと栗の木を植えよう！」をテーマに「里山の森と水と森の恵み」を作業や遊びと、植樹後1年後の様子を見た感想や今後の方向などを意見交換し、お祝いをしました。

◇小高理事長と特別参加の和田環境部長様の挨拶後、2版にわかれ、子供たちを中心に石谷さん



の椎茸のお話を聞いた後、地元の方がドリルで穴あけしたボタ木に菌を一生懸命、木槌で打っていました。できたボタ木は北



側斜面中間の少し平らなところに集めました。

休憩には甘酒が振るわれ、子供たちは笹に巻きつけたパンを焼いてたべました。大人も子供も火遊びは大好き！っササの先につけたパンが真っ黒焦げにならないように回しながら上手に焼けたかな。おじさんたちも食べたそうな顔していました・美味しかったかな？



◇大人は懇談会を行いました。和田部長様から谷津田保全協定の締結の方針、会員から今後植える樹種について二次利用や植え方、手入れのポイント、子供の自然体験が出来る

プレーパークの期待、赤道の付替えなどの意向について意見交換がされました。

市役所にも植林してみんなで楽しみながら手入れていることが伝わってきているようです。



◇昼食後は、2手に分かれ、1版は栗の植樹、2版はアンズ・シラカシ・クヌギを植えていただきました。子供たちも一輪車で堆肥を運び、穴掘り、堆肥やりなどをやってもらいました。

カムと虫の幼虫を堆肥の山にリリース

最後に、山中さんが持ってきてくれた堆肥にいたというカブトムシの幼虫を子供たちが一つずつ堆肥の山に移してやりました。堆肥の山にはアマガエルが何匹もいて、ここの生き物がどんどん増えているようです。



◇2008年度最後の定例行事でしたが、植樹後の木はほとんどが根付き、肝新しい芽を膨らませています。地元の方と都市住民お方が意見交換できてとても有意義な一日でした。皆様 お疲れ様でした。



★お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

- ・H21年度は4月に子供や親子で参加していただくことを前提に、安全面の検討、保険の手当て、そして森づくりと自然に触れて自由に遊べる森づくりパークを目指して取り組みます。
- ・第1回定例作業と春の森でバーベキューを4月25日(土)(雨天順延)に開催します。ふるってご参加ください。